

# なかつがわ



平成28年 中津川市議会 8月臨時会・9月定例会



## 「市民と議会の対話集会」開催

各会場とも地元出身の議員が出席します。  
皆様のご意見をしっかりと聴かせてください。

日 時	会 場
11月7日(月) 午後7時より	加子母公民館
	馬籠自然休養村センター
	福岡公民館
11月8日(火) 午後7時より	坂本公民館
	苗木公民館
	中津川文化会館
11月9日(水) 午後7時より	蛭川公民館
	かわうえ自然休養村管理センター
	阿木公民館

### 目 次

- 議案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・②
- 平成28年度補正予算・・・・・・・・・・・・④
- 平成27年度決算認定・・・・・・・・・・・・⑤
- 常任委員会報告・・・・・・・・・・・・・・⑧
- 特別委員会報告・・・・・・・・・・・・・・⑩
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑪
- 市議会議場で中学生生徒会サミット開催・・・・⑬

## トピックス

- ・いよいよ本庁舎耐震工事始まる
- ・クアリゾート湯舟沢の民間譲渡決定
- ・市の観光大使任命  
花柳寿楽氏(花柳流三代目)  
中村一幸氏(元三菱電機(株)副社長  
・元中津川製作所営業部長)

8月臨時会は、8月9日に開催され、専決処分の承認1件と工事請負契約の締結1件を原案通り可決しました。

## 専決処分の承認

(全会一致)

・中津川市民福祉医療費助成金支給条例の一部改正

児童扶養手当法施行令が一部改正され、施行令の条項にずれが生じたことに伴い、引用している条例を整理するため改正するものです。

## 工事請負契約の締結

(全会一致)

中津川市役所本庁舎を耐震改修するものです。

### ① 工事名

中津川市役所本庁舎耐震改修工事  
(建築主体工事)

### ② 契約金額

6億6千420万円

### ③ 工事概要

・耐震補強・バリアフリー対策  
・老朽対策・機械設備関連改修

9月定例会は、平成28年度一般会計補正予算など9議案、陳情1件、平成27年度一般会計など決算認定12議案を所管の委員会に付託しました。本会議において、付託した9議案並びに中津川市教育委員会委員の任命同意など2議案を原案通り可決するとともに平成27年度一般会計などの決算12議案を認定しました。また、陳情は、執行部に対しての申し入れを行いました。

## 中津川市固定資産評価審査委員会委員の選任同意

(全会一致)

鈴木正樹さんの任期が平成28年9月30日に満了となりますので、引き続き選任するものです。



鈴木正樹さん

## 中津川市教育委員会委員の任命同意

(全会一致)

田島雅子さんの任期が平成28年9月30日に満了となりますので、引き続き任命するものです。



田島雅子さん

## 中津川市税条例等の一部改正

(賛成多数)

地方税法の一部改正に伴い、改正するものです。

### ① 市民税

・個人市民税に、薬局等で自分が選んで買う一般用医薬品(市販薬)の購入費用を所得から控除するOTC薬控除を創設する改正

・市民税の延滞金額の計算期間を見直し、減額更正後に増額更正された場合には、その間延滞金を課さない改正

・法人市民税法人税割の税率を、消費税率10%の段階において、12.1%から8.4%に改正

### ② 固定資産税

・新築住宅等に係る減額措置の適用期限を2年延長する改正  
・電気事業者による再生可能エネルギー電気調達の調達に関する特別措置法に規定する認定発電設備に係る課税標準の特例措置について、「わ

がまち特例」を導入した上、適用期限を2年延長する改正

### ③ 軽自動車税

・平成28年4月1日から平成29年3月31日までに新規で取得する軽自動車について、現行のグリーン化特例の適用が受けられるよう期限を1年延長する改正

・自動車取得税(県税)を廃止し、自動車税環境性能割を創設。徴税費(収入の5%)を除いた額の65%を県から市へ交付する制度を設ける改正

## 中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(賛成多数)

建築基準法施行令の改正に伴い、保育室を4階以上に設ける場合の避難用階段と屋内との連絡について、避難用階段に排煙設備を設けることでも可とするよう改正するものです。

## 中津川市保育所の設置に関する条例の一部改正

(全会一致)

田瀬保育園と下野保育園を平成29年4月1日より統合するため改正するものです。

## 財産の取得

(全会一致)

坂本分団第2部の消防ポンプ自動車1台を更新するものです。

・契約金額 1千998万円

北消防署の救助工作車1台を更新するものです。  
・契約金額 1億152万円

## 中津川市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

市選挙管理委員会委員の任期が9月27日に満了となりますので、委員4人と補充員4人を選挙しました。



田口晴子さん 森田まなみさん



熊崎雄公さん 五十棲正博さん

補充員 田口正博さん・田口美晴さん  
・柴田美雪さん・小縣博道さん

## 中津川市健康温泉館の設置等に関する条例の廃止

(全会一致)

市健康温泉館(クアリゾート湯舟沢)を民間に譲渡することに伴い、廃止するものです。

## 賛否の分かれた議案の議決結果

議案 賛否	会派 氏名	中津川自民クラブ										新政会		市民ク		公明		ネ	共	議決結果			
		鷹見 憲三	深谷 明宏	大堀 寿延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘植 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	粥川 茂和	鈴木 雅彦	三浦 八郎	吉村 久資	榎松 直子	牛田 敬一	鈴木 清貴		田口 文数	佐藤 光司	木下 律子
中津川市税条例等の一部改正	○	欠席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	欠席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
平成28年度中津川市一般会計補正予算(第6号)	○	欠席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	×	可決

※市民ク：市民クラブ、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、共：日本共産党

## 陳情

「坂下病院を合併時に約束した通り現行のままの「坂下病院」としての存続を求める陳情」

要旨 私たちは、坂下・山口・川上・馬籠・神坂・旧恵北地区等中津川市民、南木曾町・大桑村等 木曾方面の地域医療の拠点として住民の命と健康を守る砦としてきた「国保坂下病院」が診療所化するということを絶対に許すことはできません。市が合併時に「国保坂下病院」を「現行のまま存続する」と、約束した通り「国保坂下病院」の存続運営を切望いたします。

### 市の見解

社会情勢・医療情勢が急激に変化しており、市の公立病院でも、医師不足と経営改善が大きな課題となっています。市民病院と坂下病院を現行のまま存続することは大変難しく、両病院の役割分担と連携強化が必要と考えています。

### 病院・医療等対策特別委員会審査結果

議長宛に1万6千447名の署名がされた陳情が提出されたことを受け止め、市の医療体制の現状、将来予測、国等の施策動向等を踏まえて、慎重に検討されるよう執行部に対して申し入れをしました。

# 予算決算委員会報告(補正予算)

(8月31日、9月20日、10月6日)

## 平成28年9月補正予算の概要

下記の7つの編成方針により、予算が計上されました。

- ① 豪雨等により被災した施設等を復旧する事業
- ② 第三セクターの清算を行う事業
- ③ 地方創生関連事業
- ④ 国・県等の補助金獲得に伴う事業
- ⑤ 寄附金を財源とする事業
- ⑥ 緊急対応が必要な事業
- ⑦ 過年度精算

### 補正を行う会計

- 一般会計……………543,961千円
  - 特別会計
    - ・国民健康保険事業会計(事業勘定)……………209千円
    - ・介護保険事業会計……………397,351千円
- 合計 941,521千円



### ①豪雨等により被災した施設等を復旧する事業 70,702千円

保育所施設営繕事業  
教員住宅維持管理事業  
体育施設維持管理事業  
農地・農業用施設災害復旧事業  
林業施設・治山施設災害復旧事業  
道路橋りょう・河川災害復旧事業  
文化施設管理運営事業

### ⑤寄附金を財源とする事業 3,678千円

生活安全対策事業  
交流事業  
小学校運営事業  
中学校運営事業  
公立保育所事業

### ②第三セクター(クアリゾート湯舟沢)の清算を行う事業 188,441千円

観光施設管理事業

### ⑥緊急対応が必要な事業 91,921千円

行政情報化運営事業  
社会福祉総務事業  
感染症予防事業  
戸籍住民基本台帳事業  
生活安全対策事業  
観光施設管理事業  
道路維持補修事業  
河川改修事業  
幼稚園規模適正化推進事業  
前期高齢者納付金  
【国民健康保険事業会計(事業勘定)】

### ③地方創生関連事業 8,930千円

市民協働推進事業  
特産品振興事業  
外国人観光促進事業  
中津川の未来を担う人材育成事業

### ④国・県等の補助金獲得に伴う事業 111,440千円

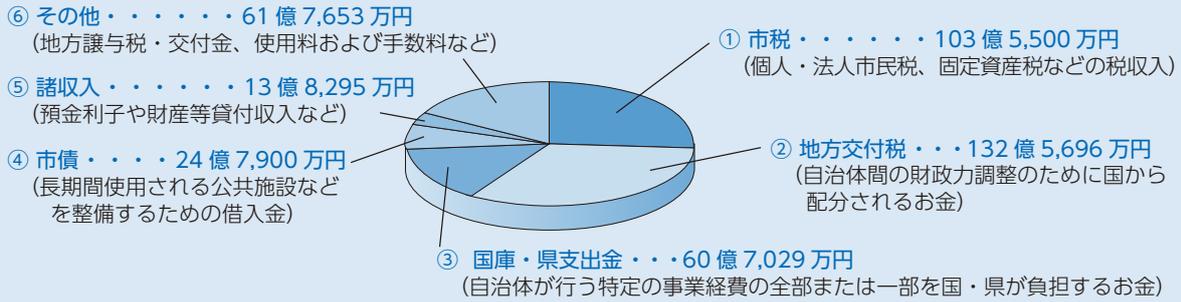
老人福祉施設整備事業  
B&G 海洋センター運営事業  
法人保育所事業  
林道整備事業

### ⑦過年度精算 466,409千円

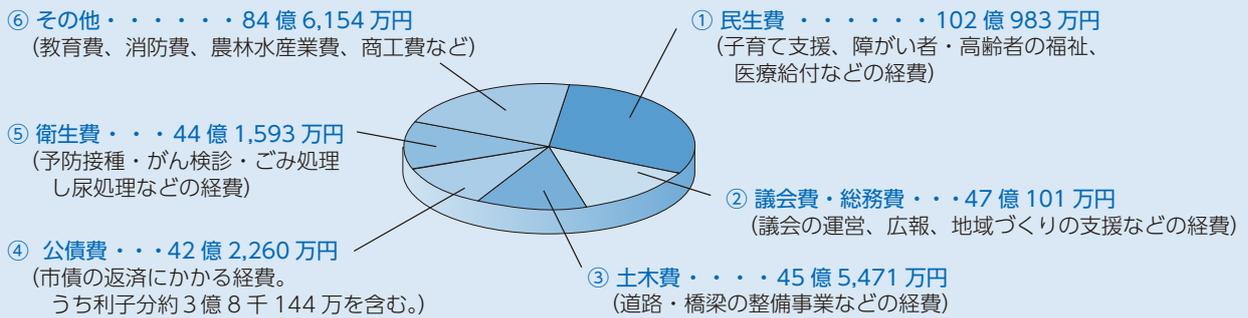
国・県支出金過年度償還金【一般会計】  
国・県支出金過年度償還金【介護保険事業会計】  
介護給付費準備基金積立金【介護保険事業会計】

# 平 成 2 7 年 度 決 算 を 認 定

一般会計歳入 397 億 2,073 万円



一般会計歳出 365 億 6,562 万円



## 健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、健全化判断比率・資金不足比率を公表するもので、中津川市の財政は健全かどうかを早期健全化基準と比較して判断します。

また、特別会計・企業会計は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。

### 一般会計健全化判断率

(単位：%)

年 度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成 27 年度	発生していません	発生していません	9.4	33.5
早期健全化基準	12.08	17.08	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし
平成 26 年度	発生していません	発生していません	10.0	46.2
平成 25 年度	発生していません	発生していません	11.3	59.6

※平成 27 年度一般会計決算における各比率は、全て早期健全化基準を下回っています。実質公債費比率は、9.4%と昨年度の比率 10.0%と比較して 0.6 ポイント減少し財政は、健全化に向かっている。しかし今後は大規模事業の実施に伴う起債の発行の増加に伴い比率の悪化が懸念されるため、更なる健全財政の運営に努めるよう希望します。  
※特別会計・企業会計とも資金不足額は生じていないため、資金不足比率はなく、健全といえます。

### 各会計の決算額

(単位：千円)

会 計 名	27 年度決算額	26 年度決算額	増 減 額
一般会計	36,565,622	38,479,238	△1,913,616
国民健康保険事業会計 (直診)	280,212	258,357	21,855
国民健康保険事業会計 (事業勘定)	8,919,458	7,829,520	1,089,938
駅前駐車場事業会計	15,447	15,107	340
下水道事業会計	2,011,797	1,951,274	60,523
簡易水道事業会計	726,275	697,971	28,304
農業集落排水事業会計	653,782	740,930	△87,148
特定環境保全公共下水道事業会計	1,430,945	1,406,865	24,080
介護保険事業会計	7,306,864	7,514,395	△207,531
個別排水処理事業会計	7,989	8,162	△173
後期高齢者医療事業会計	907,526	906,856	670
水道事業会計	1,640,069	1,763,591	△123,522
病院事業会計	11,441,398	14,999,545	△4,047,684
計	71,907,384	76,571,811	△4,664,427

## 平成 27 年度 決算認定における所見

### 市長公室

- ・ふるさと応援隊からの情報提供が重要と考えます。応援隊員の増に更なる努力を願いたい。

### 政策推進部

- ・新たにできた部であり、広報関連事業のみの説明であったが、本来の部のあり方に合致する事業運営が必要である。

### 総務部

- ・企画力、計画力が今後更に重要となってくるため、職員研修に今まで以上に力を入れていただきたい。
- ・光ファイバー網の維持管理費用の削減努力をお願いしたい。

### 財務部

- ・第三セクターの解体及び市有財産（施設）運用管理マスタープランの着実な実施により、更なる財政の健全化を目指すべきである。市町村合併の本質を市民にご理解いただきながら計画に沿って進めること。

### 定住推進部

- ・がんばる地域サポート事業・集落支援員事業などは地域活力の向上に効果があるため、更に積極的な支援をお願いしたい。
- ・空き家バンク登録制度は、活用件数も少なく機能していない。移住定住は全国的課題でもあり、市独自の施策を積極的に行っていく必要がある。

### 健康福祉部

- ・乳幼児やひとり親医療費助成事業などは、子育て支援に有益な制度である。
- ・昨年「健康都市なかつがわ」を宣言したところでもあり、健康増進に向けた取り組みを更に前へ進めて頂きたい。

### 商工観光部

- ・観光関連施策、特産品振興施策などに力をいれていただいている。当市の知名度アップに向け更なる努力をお願いしたい。

### 農林部

- ・荒廃農地の調査を農業委員会で行っているが、施策に有効活用されていない。今後荒廃農地の更なる拡大が懸念される。
- ・鳥獣害は減少しているが、根本となる人と鳥獣の棲み分け対策も必要ではないか。

### 生活環境部

- ・斎場の維持管理については、施設の老朽化が進み、修繕費が増加している。早期に新斎場を建設し、効率的な運営を図って頂きたい。
- ・相変わらずごみ処理量が多いため、確実なごみ減量対策に取り組むこと。

### 文化スポーツ部

- ・文化財も多く、広くアピールしていくことが大切である。各施設の整備も順次行われている。
- ・史料館が各地区に分散している。地域的なつながりもあると思われませんが、効率的な運営や来館者への利便性を考えると、施設の集約に向け検討すべきではないか。

### 教育委員会

- ・学童保育における、待機児童が無くなるよう更なる努力をお願いしたい。

## 平成 27 年度 決算認定における所見

### リニア都市政策部

- ・ J R 東海による中心線測量、中部車両基地周辺地域で地権者立会いによる境界確認が実施されました。市内沿線地域や地権者に十分な説明によるご理解と、情報の共有により、スムーズな事業推進を望む。

### 基盤整備部

- ・ 青木斧戸線道路整備事業が平成 27 年度より工事に着手しました。市街地等への交通混雑の解消、利用者の利便性向上、更には災害時の緊急輸送路として重要な路線であるため、早期完成に向け努力願いたい。

### 水道部

- ・ 事業の安定運営及び受益者の不公平是正のため、使用料の徴収率向上に更なる努力をお願いしたい。

### 病院事業部

- ・ 医師、看護師不足が、事業収益の減少に繋がる。
- ・ 事業の安定運営に向け、医師、看護師確保が最重要課題である。現在も努力頂いているが、更なる努力をお願いしたい。

## 賛否の分かれた平成 27 年度決算の認定結果

議案	会派 氏名	中津川自民クラブ										新政会			市民ク		公明		ネ	共	議決結果
		鷹見 憲三	大堀 寿延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘植 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	粥川 茂和	鈴木 雅彦	三浦 八郎	吉村 久資	櫛松 直子	牛田 敬一	鈴木 清貴	田口 文数	佐藤 光司	
平成27年度中津川市一般会計決算の認定	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定
平成27年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定
平成27年度中津川市下水道事業会計決算の認定	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定
平成27年度中津川市農業集落排水事業会計決算の認定	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定
平成27年度中津川市特定環境保全公共下水道事業会計決算の認定	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定
平成27年度中津川市介護保険事業会計決算の認定	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定
平成27年度中津川市個別排水処理事業会計決算の認定	退席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	×	認定

※ 市民ク：市民クラブ、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、共：日本共産党

# 常任委員会報告

## ◆総務企画委員会 7月13日

〔所管事務調査報告〕(財務部)

### ○市有財産運用管理マスタープランについて

市の財政の健全化を推進するための市有財産管理運用マスタープランの現状と今後について調査しました。

#### マスタープランの概要

- ①施設の統廃合・譲渡等により、維持管理経費を平成32年度までに6億円削減する。
- ②未利用土地の売却額を、平成30年度まで毎年2千500万円以上とする。

#### 今後の取り組み

実施計画について、地域との協議結果と施設利用の実情を考慮し見直しを行います。

#### 委員会のまとめ

目標年次、金額が決まっているので計画通りに実施できるよう各部との連携を強化するとともに、進捗状況を市民に分かりやすく、公表できるようにしていただきたい。

## ◆総務企画委員会 7月27日

〔所管事務調査報告〕(定住推進部)

### ○移住定住施策について

人口減少が進む中、定住推進施策の取り組みの現状と今後について調査しました。

#### 現状と今後

①多様な情報発信により、当市への関心を高めている。

②移住定住の現状と目標

- ・移住世帯  
平成26年度実績42世帯(97人)を  
平成38年度100世帯(230人)
- ・子ども増やす(合計特殊出生率)  
平成26年度実績1.62を平成38年度2.0
- ・住みよさ(住みよさランキング)  
平成27年度実績310位を  
平成38年度200位

#### 委員会のまとめ

多様な施策を実施しているが、訴求力・浸透度が低いため、内外への情報発信について努力が必要である。

各部が連携・工夫し、平成38年の目標達成に向け、定住施策を推進していただきたい。

## ◆文教民生委員会 7月12日

〔所管事務調査報告〕(教育委員会)

### ○学童保育の現状と課題について

保育所指導員の確保、指導員処遇改善事業等への支援の現状と今後について調査しました。

#### 現状

- ・指導員・南学童は、分割のため2名不足
- ・落合・福岡学童は、慢性的に各1名不足
- ・市の補助金の基準が国及び県と不一致
- ・各学童の運営状況と補助加算条件が不一致

#### 今後の対応

- ・中津川市子供・子育て支援事業計画に位置づけられ、国の放課後子ども総合プラン推進事業を推進
- ・放課後児童支援員の確保

#### 委員会のまとめ

- ・各学童・連絡協議会との連携を強化し実態を正確に把握していただきたい。
- ・引き続き必要な施設を先行的に整備・準備していただきたい。

市の補助金の算定基準を見直すこと等を含め、指導員の確保に万全を期していただきたい。

# 常任委員会報告

## ◆文教民生委員会 8月3日

〔所管事務調査報告〕(生活環境部)

### ○空き家対策の現状と課題について

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき実施した空き家等対策、特に危険空き家等に対する取り組みについて調査しました。

#### 現状

- ・ 昨年10月法7条に基づく協議会を設置。
- ・ 法6条に基づく中津川市空き家等対策計画を協議会で検討中
- ・ 法14条に基づき、協議会において、3件の物件が特定空き家として判断し、行政措置を実施

#### 今後の対応

- ・ 空家等対策計画を今年度中に策定
- ・ 平成27年度に把握した空き家情報を基に、アンケートを含む調査結果のとりまとめ
- ・ 特定空き家等に対する適切な行政措置の実施

#### 委員会のまとめ

各地域の区長等と密接に連携し、必要に応じた特定空き家等への認定判断とこれに対する適切な行政措置を講ずるよう要請しました。

## ◆産業建設委員会 7月26日

〔所管事務調査報告〕(水道部)

### ○下水道事業の健全経営の方向性と耐震化について

中津川市の下水道事業の現状と今後の取組みについて調査しました。

#### 現状

管路の整備費と管路及び処理場の長寿命化、その他事業費を合計すると、平成37年度までの10年間で約107億5千万円と多額の事業費が予定されています。

#### 課題

本来汚水処理費は、使用料収入で賄うことが原則ですが、使用料収入9.8億円に対し、汚水処理費12.3億円で、約2.5億円の収入不足が生じています。その不足分は、一般会計からの繰入金に依存している状況です。

#### 委員会のまとめ

事業経営の健全性を維持した上で、施設の耐震化及び長寿命化事業を推進してほしいと要望しました。

## ◆産業建設委員会 7月26日

〔所管事務調査報告〕(農林部)

### ○今後の林業振興について

坂下地区高峯山の市有林の現地で、整備済みの森林、今後整備予定の森林を視察後、市の林業振興施策の現状について調査しました。

#### 現状と課題

- ・ 市における林業の主な問題点は、小規模林家に対する造林補助等の支援策が少なく、森林整備が進んでいないことです。
- ・ 高齢化や不在地主の増加により、所有山林の境界が不明確となり、放置山林や所有者不明の山林が増加しています。
- ・ 人里付近の環境面や防犯面が課題で、地域住民が連携して取組む里山林整備への支援や、地域住民の意識醸成が必要です。
- ・ 林業振興のため、間伐促進事業、森林病害虫駆除事業、市有地貸付地境界明確化事業、森林整備地域活動支援事業、木の駅プロジェクト等への支援はあるが、抜本的な解決には至っていません。

# 特別委員会報告

## ◆病院・医療等対策特別委員会

7月25日・9月21日

○第5・6回中津川市公立病院機能検討委員会及び、病院事業地域説明会の結果を確認しました。

- ・第5回機能検討委員会の報告
- ・検討委員会の方針決定
- ・委員の個別意見
- ・今後のスケジュール
- ・病院事業地域説明会を5会場で開催
- ・合併協定書の内容
- ・市からの繰入金金の現状について
- ・坂下病院移転新築事業町村負担金の状況
- ・第6回機能検討委員会の報告
- ・検討委員会の議事録確認
- ・両病院の状況報告
- ・住民からの要望・意見に対する回答
- ・意見書の回答について
- ・現時点の市長の方針
- ・今後のスケジュール
- ・新公立病院改革の4つの視点について
- ・老人施設移転スケジュールについて

### 委員会のまとめ

今後も検討委員会から報告を受けながら慎重に審議していく。

### ○陳情書の審査

坂下病院を支える会から提出された陳情書を審査しました。

### 委員会のまとめ

市の医療体制の現状、将来予測、国等の施策動向を踏まえ、慎重に検討するよう執行部へ申し入れました。

## ◆リニア中央新幹線対策特別委員会

8月5日

○リニア中央新幹線に関する最近の動向について整備計画などを調査しました。

- ①最近の主な実施事項と当面の予定。地質調査・環境調査・発生土置き場・土砂運搬経路の検討・車両基地や駅の幅杭打ち、用地測量が7月から開始
- ②中央アルプストーンネル(山口)工事(山口地区側から4千653m)が8月工事開始
- ③濃飛横断自動車道に関する説明会を県と市による坂本地区7会場で開催。作業工程等に関係地域に周知、9月から測量予定
- ④中津川・恵那両市議会リニア問題懇談会の開催の確認
- ⑤三市一村議会委員会合同会議規約の確認
- ⑥南木曾町議会・中津川市議会リニア特別委員会合同会議の開催の確認

### 委員会のまとめ

事業が本格的に始まり、地域への説明会

が活発に開催されています。今後も未だ決まっていない課題を検証していきます。

## ◆議会改革特別委員会

8月9日

○議会改革特別委員会の中間報告

1. 請願(代表者)の取り扱いについて
  - ・代表者は、団体の代表者又はそれに代わる人とする。
2. 陳情の取り扱いについて
  - ・陳情者への質疑は、陳情者の承諾を得た場合に限り、委員会協議会で質疑することができる。
  - ・代表者は請願と同様とする。
3. 1、2の事項は、9月定例会から実施する。
4. 情報発信源の充実について
  - ・一般質問の通告内容の要旨は9月定例会より、政務活動費の領収書は平成27年度分より市議会のホームページで公表する。

## 一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は14人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



### 国保坂下病院の今後について

粥川 茂和

**問** 国保坂下病院の今後について、地域住民の意見を反映するため、どのように対話を進めていきますか

**答** 市民のご意見をお聴きするため、10月1日から市内全地区の区長会推薦者、やさか地域のまちづくり協議会推薦者、近隣町村代表者からなる中津川市公立病院地域協議会を設置します。同会は10月から月例で開催の予定で、市民病院と坂下病院の具体的な機能分担等についてご意見をいただきたいと考えています。  
(病院事業部長)



### アピタ閉店と中心市街地活性化について

吉村 久資

**問** ①アピタ閉店に関する市の対応と、市民生活及び市街地の活性化に対する影響について伺います。  
②中心市街地活性化基本計画を本年度から策定予定ですが、商業の活性化について伺います。

**答** ①市長及び商工観光部長が、市民生活への影響を極力小さくする形で商業施設を存続するよう、土地所有者に要望しました。  
買い回りや若年層の居場所としての機能など、中心市街地の拠点を失うこととなります。また、離職者へのサポートも必要となると考えます。  
②中心市街地内の店舗を回遊する仕組みづくりや空き店舗対策など、商業活性化につながる施策等を計画に盛り込むことを検討しています。  
(商工観光部長)



## 大型店舗撤退について

鈴木 清貴

**問** 今回の大型店舗撤退は、総合計画の中心市街地活性化にも影響しますが、市長は、今後どのようにしていく考えか伺います。

**答** 7月に土地所有者と面談し、商業施設としての継続を要望してきました。商業施設は、これからの中心市街地の核となる、人の動線ができるものとなると考えています。  
(商工観光部長)



## 小中一貫教育について

岡崎 隆彦

**問** 今後の教育行政において、小中一貫教育（一貫教育・連携教育）の導入を検討する必要があると考えます。

**答** ①加子母地域では児童生徒が減少しています。現状の小・中学校を活用して、連携教育は可能ですか。  
②地域を限定して、小中一貫教育を行う考えはありますか。  
①加子母小中学校でも以前は教科担任による授業を行っていました。従って、教育課程の調整等により可能であり、小規模校では可能な限り実施していく必要があると考えています。  
②地域のご理解やご協力を得ながら、より実質的で中身のある小学校と中学校の連携教育を進めることで一貫教育と変わらない効果を得るよう努めて参ります。  
(教育長)



## 鳥獣被害に対して、狩猟免許及び射撃場の再開について

佐藤 光司

**問** ①猟友会からの射撃場確保の要望は聞いていますか。  
②射撃場の再開（場所はこだわらない）の検討は進んでいますか。

**答** ①中津川市猟友会会長と中津川市射撃協会会長の連名により、平成28年3月29日付で「中津川市射撃場建設に関する要望書」が提出されております。  
②鳥獣害対策として射撃場でのハンター育成は必要だと考えますが、射撃場は、建設費や維持管理費、管理体制等の課題が多いため、近隣自治体との広域的な枠組みができないか調査研究を行っています。  
(農林部長)



## 中津川市民8万人のための健康向上施策について

鈴木 雅彦

問

苗木公民館の照明や音響設備について、使用者から多くの要望が出されております。公民館祭りや音楽イベント等で、ステージ上のアップライト及びスポットライト、音響設備の必要を感じますがいかがですか。

答

公民館の多目的ホールは地域公民館として整備しており、文化施設のような専門的な設備を備えた施設となっております。

建設検討委員会において専門的な照明設備・音響設備等について検討しましたが、導入経費が高額になることから設置を断念した経過があります。照明等の整備計画はありませんので、専門的な照明器具等が必要な場合は他の施設等から調達等で使用いただくようお願いいたします。  
(定住推進部長)



## 行財政改革について

牛田 敬一

問

行財政改革は、常に取り組む必要があり、時代の変化に即応できる柔軟な組織作りが重要と考えます。財政の厳しい状況において、市民サービスの向上と市民に協力して頂く事業など見える化が必要と考えます。平成27年度の取組みを伺います。

答

平成27年度については、財政構造改革取り組み宣言で掲げた項目について、できることから取り組みを始めるとともに、下水道料金の見直しや市有土地の売却、市有施設マスタープランの推進などを進めてきました。庁内の推進本部において、行財政改革推進プランの策定を進めました。

財務部の所管する項目としては、金銭債権収入確保、市債発行ルールの遵守、補助金等の見直し、リニアなどの基金の計画的造成です。  
(財務部長)



## 食品ロス削減について

田口 文数

問

循環型地域づくりのため、ごみ減量化・食品ロス削減の推進が必要です。①段ボールコンポスト等の取り組みを強化する計画はありますか。

②残さず食べる、持ち帰る運動を市民、事業者と一体で取り組む計画はありますか。

③残った食品を持ち帰るための、ドギーバッグの普及の取り組みを推進してはどうか。

答

①家庭の生ごみの排出抑制を促進するため、普及啓発に取り組みしており、引き続き市民に啓発をして参ります。

②飲食店等に周知します。飲食店等の自主的な取り組みと協力が必要であり、内容について協議していきます。

③飲食店等の意見を伺い、協議していきます。食中毒など衛生上の課題も慎重に捉える必要があると考えます。  
(生活環境部長)



現在の選挙制度について

吉村 浩平

**問** 18～19歳の投票率は、県内では49.01%で、全年齢の投票率を8.73ポイント下回るとの新聞報道です。同年代に於ける市の投票率はどうだったのか。また、他の年齢層と比べてどんなことが言えますか。

**答** 市の18～19歳の投票率は、52.94%です。全体の投票率が63.40%ですので、10.46ポイント下回ります。岐阜県全体と比較すると18～19歳の投票率は高いものの、全体の投票率との差は大きいと言えます。なお、国・県・市では、その他の年代別の集計は行っていません。

(総務部長)



公立病院機能検討委員会提案の「坂下病院の診療所化」について

木下 律子

**問** ①「坂下病院の診療所化」の提案理由の中に、県の地域医療構想で東濃圏域689床削減の計画がありました。県は「強制ではなく、あくまで市が自主的に決めること」と言っていますがいかがですか。

②坂下病院の現行のままの存続を求めて「坂下病院を支える会」の1万6千447筆の署名と区長会の1万を超える署名が議会と市長に提出されました。どのように受け止めますか。

**答** ①県はその様に言っていますが、今後は、二次医療圏毎の協議で診療報酬の改定等が進んでいくので、同じ医療を行っても益々経営的には厳しくなることが予測されます。  
②署名を頂いたことについては、重く受け止めています。

(病院事業部長)



外部人材等を活用した地域づくりについて

三浦 八郎

**問** 定住推進やまちづくりを進めるため、外部や地域に愛着を持つ人材が、中長期的に関わっていくことが大切だと思います。

総務省の地域おこし協力隊制度は、これまで気づかなかった地域の持っている力、人の持つてる力を引き出す実践をするための制度だと思っています。地域おこし協力隊の導入に取り組む考えはありますか。

**答** 現在、地域おこし協力隊を導入したいという地域もあり、来年度取り組みたいと考えています。

今年度、東京や大阪、名古屋での移住相談会を実施中であり、地域おこし協力隊も含め人材の募集に努めています。

(定住推進部長)



## 2025年に対応した高齢者福祉について

柘植 貴敏

問

①平成27年に策定された高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は計画どおり進んでいますか。

②地域包括ケアシステムの推進役である地域包括支援センターを強化できませんか。

答

①平成29年度までの施設整備については、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を除きほぼ計画どおり進んでいます。介護給付費等についても給付計画の94.8%、市からも法に基づき負担分を繰り入れていきます。

②地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの推進の要です。地域包括支援センターの複数設置を計画に沿って進め、機能強化・拡充を図っていきます。

(健康福祉部長)



## 中津川市観光大使について

森 益基

問

①観光大使の役割を伺います。

②観光部門に限らず各分野からの選考についての考えを伺います。

③観光大使に今後期待されることは何ですか。

答

①中津川市の顔として様々な機会を活用し、市の特性、魅力をPRして頂くと共に取り組みに対する提言等をして頂きたいと思えます。

②分野を問わず、広く活躍されている方で効果的なPRが期待できる方を選考します。

③人脈やネットワークを活用し、市の魅力を積極的に情報発信して頂きたいと思えます。

(商工観光部長)



## 中津川市のごみ問題について

吉村 孝志

問

家庭から出されるごみの量が岐阜県で最下位と不名誉なことです。ごみ袋の値段の中にはごみの処理費は含まれていません。ごみ処理費を有料化する必要があると考えますが、市の考えを伺います。

答

現状は、ごみ処理費用の全てを公費で負担しています。

ごみを多く排出している家庭とごみ減量を積極的に推進している家庭との公平性が保たれていません。

有料化は、ごみ問題や循環型社会への転換に向けた意識を高める施策であると考えます。大型ごみは、重量に応じて負担していただく方法と、数に応じて負担していただく方法が考えられます。

(生活環境部長)



# 市議会議場で 中学生生徒会サミット開催



8月19日（金）市内各中学校の生徒会が市役所議場にて中学生生徒会サミットを開催。「20年後に住みたいと思う中津川市にするために」というテーマで市の将来について活発な議論が展開されました。



## 深谷明宏議員 逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします

平成17年2月から4期連続11年にわたり当市市議会議員として活躍された深谷明宏議員（55歳）が平成28年10月5日逝去されました。

議員在職中は、総務企画委員長、民生委員長、議会改革特別委員長、予算決算特別委員長、議会運営委員長、病院・医療等対策特別委員長のほか市議会議長（27年5月～28年5月）を歴任されるなど市政発展に御尽力されました。  
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



## 平成28年12月定例会は健康福祉会館4階多目的ホールで開催

市役所本庁舎耐震改修工事に伴い、平成28年12月定例会中の本会議と各委員会は、多目的ホールで開催します。このため、インターネットでの映像配信（生中継）は行いません。

なお、この期間の市議会本会議及び各委員会の傍聴の受付は、多目的ホール入口となります。

## 平成28年12月定例会の日程

- 11月29日（火） 10時 本会議（初日）
- 12月8日（木） 10時 一般質問
- 12月9日（金） 10時 一般質問
- 12月13日（火） 10時 総務企画委員会
- 12月14日（水） 10時 文教民生委員会
- 12月15日（木） 10時 産業建設委員会
- 12月16日（金） 10時 予算決算委員会
- 12月22日（木） 10時 本会議（最終日）

## 議会開催状況 6月25～10月6日

- 本会議 (7回)
- 総務企画委員会 (4回)
- 文教民生委員会 (3回)
- 産業建設委員会 (2回)
- 予算決算委員会 (7回)
- 議会運営委員会 (7回)
- 議会改革特別委員会(協議会含む) (4回)
- リニア中央新幹線対策特別委員会 (1回)
- 病院・医療等対策特別委員会 (2回)
- 議員連絡協議会 (2回)
- 全員協議会 (1回)

## 編集後記

▼9月定例会中、今が旬の栗を議場に飾り「栗きんとん発祥の地」中津川をアピールしました。  
▼議員もそろいの「けんばちポロシャツ」で、昨年宣言した「健康都市なかつがわ」を発信するとともに、健康について改めて認識する議会でした。  
▼これからも「開かれた議会」「分かりやすい議会」づくりに取り組んでまいりますので、皆様からのご意見・ご要望等をぜひお聞かせください。